

【主催】ぎふまちづくり団体交流会
(財)岐阜市にぎわいまち公社
岐阜市
【後援】ぎふまちづくりセンター
岐阜市教育委員会

松田悠八「長良川－スタンドバイミー－九五〇」への旅 ～岐阜長良川の〈銀河〉をたずねて～

第14回は、現在映画化への取り組みも始まっている松田悠八さんの著書『長良川－スタンドバイミー－九五〇』を取り上げました。今回は原作者である松田氏や映画の協力監督である山下賢章氏などの参加もある中で、林正子先生からはまず、〈川〉の持つ象徴的な意味をご説明いただき、そこから岐阜の原風景、岐阜という場所の持つ力などについて講義していただきました。

また、タウンウォッチングのコース案内をしていただいた富樫先生からは、各ポイントでその場所の歴史的な背景や現在との対比など、まち歩きに精通された先生ならではの解説がありました。さらに、最後に集合場所となった鶴飼観覧船待合所では、物語の舞台となった場所の1950年当時の様子が分かる資料を用意し、スライドショーで振り返りました。

参加者の皆さんからは「講義が面白く、本が読みたくなった。」「タウンウォッチングの解説がわかりやすく、地元の事をよく知ることができた。」「岐阜のまちが文学をキーワードに盛り上がってほしい。」などの感想が寄せられ、有意義な時間を過ごしていただけたようです。



講師
林正子先生

岐阜大学地域科学部教授日本近代文学専攻
著書『異郷における森鷗外、その自己像獲得への試み』他

タウンウォッチング コース案内

富樫 幸一 先生

岐阜大学地域科学部教授
経済地理学専攻



長良橋と堤防沿い
題材となった本の主要な舞台である長良橋周辺の散策。秋の風が心地よく、沈みゆく夕日を感慨深く眺めることができました。

タウンウォッチングコース

正法寺→岐阜公園→御手洗池
→ポケットパーク名水→長良橋
→長良川上流改修記念碑
→長良橋→鶴飼観覧船待合所
行程 約2.4 km
所要時間 約45分 (3.2 km/h)

崇福寺

長良川上流改修記念碑

長良橋

鶴匠の里

神明神社

長良川ホテル跡地

御手洗池

岐阜護国神社

馬の背登山道

岐阜公園

正法寺(岐阜大仏)

鶴飼観覧船のりば

ポケットパーク「名水」(長良橋南詰)

除幕されたばかりの「篝火の像」を見ることができました。

納涼台→

御手洗池
日中友好庭園を通り、長良橋へ。

岐阜公園
三重塔も望めました。



長良川上流改修記念碑
堤防ができるまでの経緯について説明



集合写真
(出発場所の正法寺にて)



林正子先生の講義
正法寺香芳苑をお借りしました。



『長良川』の原作者
松田悠八さん



映画を成功させる会
事務局の羽瀧さん

来年度の実施予定
今年度同様、春の部を6月頃、秋の部を11月頃に開催する予定です。詳細は広報ぎふ等でお知らせいたしますので、お楽しみに♪